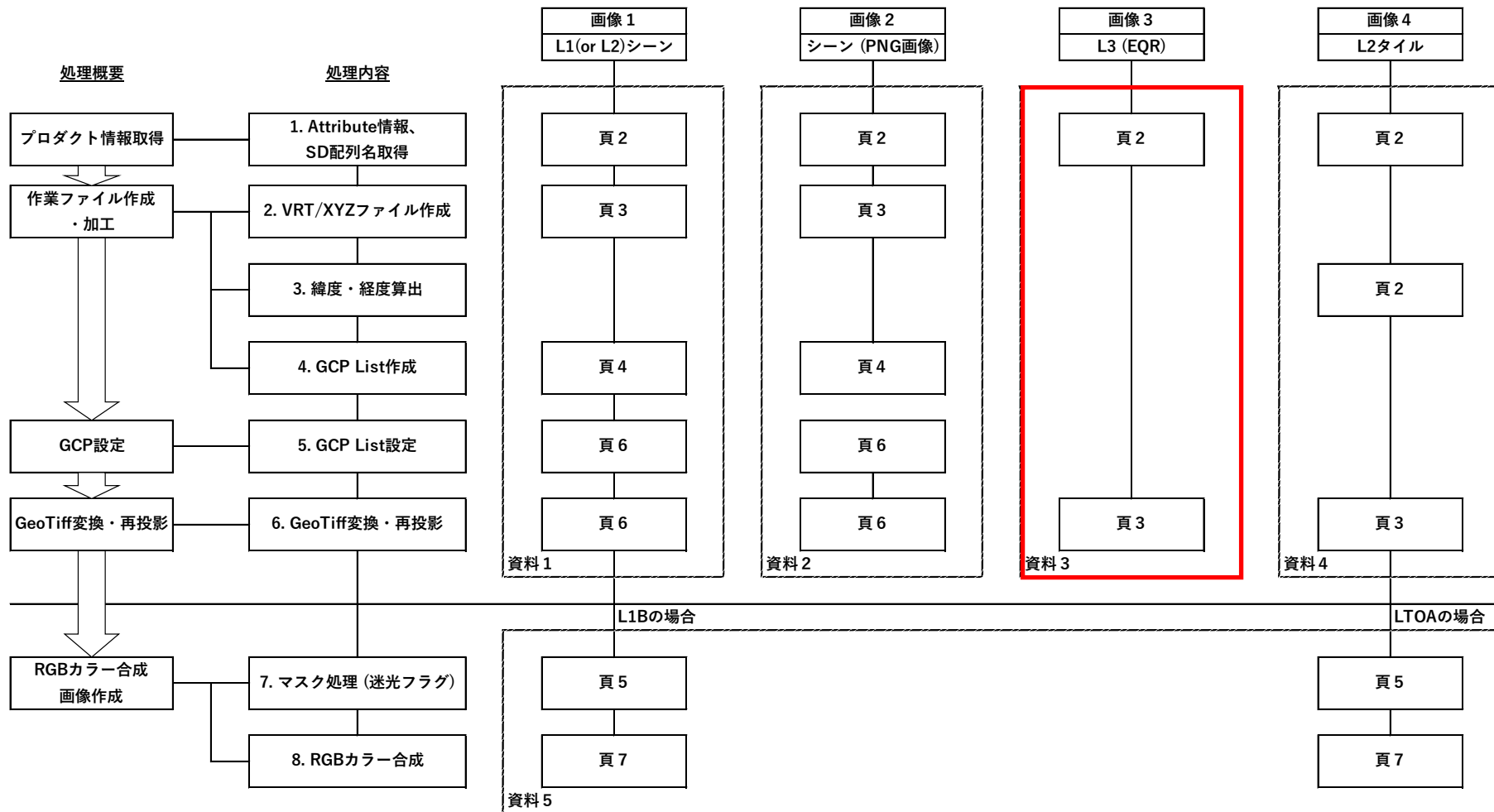


【画像3】 L3 NDVI (正規化植生指数) 画像の変換例 (等緯度・経度座標系(EQR))

ここでは、L3(EQR)画像のGeoTIFF変換例を紹介します。

GeoTIFF変換フロー



【画像3】 L3 NDVI (正規化植生指数) 画像の変換例 (等緯度・経度座標系(EQR))


プロダクト情報取得

1) SD配列名取得

以下は、WindowsにQGISをインストールした際にインストールされるOSGeo4W Shellを使用した例です。

画像データが保存されているディレクトリへ移動して、以下のようにgdalinfoコマンドに続けてファイル名を入力し、SD配列名を取得します。

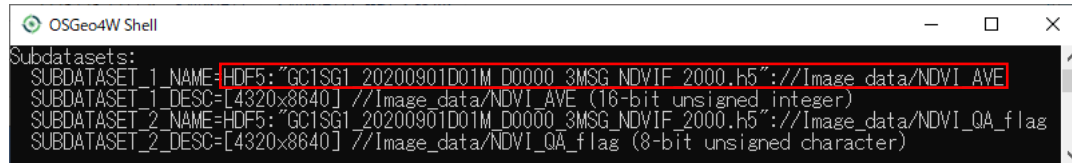
Linuxでは、端末(ターミナル)アプリケーションで使用できますが、GDALがインストールされている必要があります。



```
OSGeo4W Shell
C:\Users\¥\Documents¥Data>gdalinfo GC1SG1_20200901D01M_D0000_3MSG_NDVIF_2000.h5
```

画像ファイル名

表示される情報の下の方にあるSUBDATASET_1_NAMEの赤枠の情報を使用します。



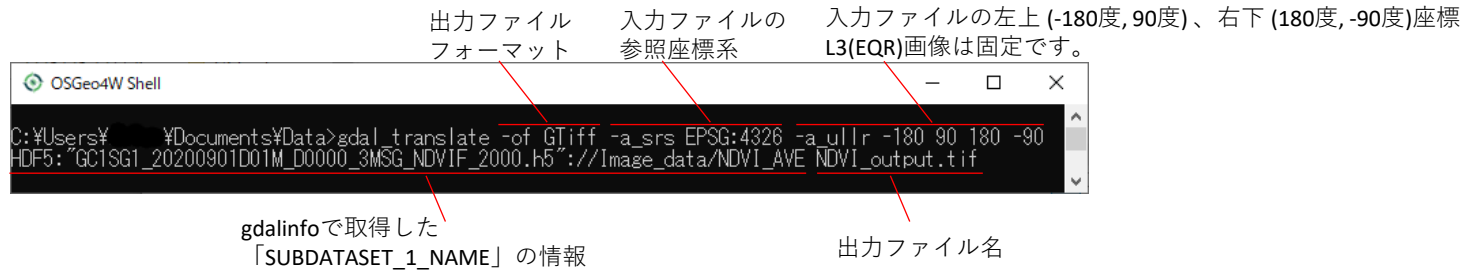
```
OSGeo4W Shell
Subdatasets:
SUBDATASET_1_NAME=HDF5:GC1SG1_20200901D01M_D0000_3MSG_NDVIF_2000.h5://Image_data/NDVI_AVE
SUBDATASET_1_DESC=[4320x8640] //Image_data/NDVI_AVE (16-bit unsigned integer)
SUBDATASET_2_NAME=HDF5:GC1SG1_20200901D01M_D0000_3MSG_NDVIF_2000.h5://Image_data/NDVI_QA_flag
SUBDATASET_2_DESC=[4320x8640] //Image_data/NDVI_QA_flag (8-bit unsigned character)
```

【画像3】 L3 NDVI (正規化植生指数) 画像の変換例 (等緯度・経度座標系(EQR))

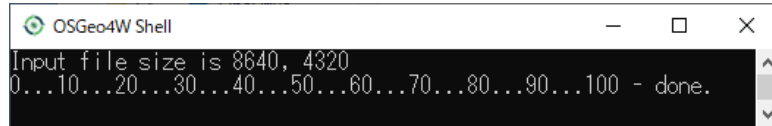
GeoTIFF変換・再投影

2) GeoTIFF変換

gdal_translateコマンドを使用して、以下のように緯度・経度情報等を入力し、実行します。



正常終了すると、以下のようになります。



< QGISでの出力ファイル表示例 >

